



平成22年3月期 第2四半期決算短信

平成21年10月29日

上場取引所 JQ

上場会社名 株式会社 エイジス

コード番号 4659 URL <http://www.ajis-group.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 齋藤 昭生

問合せ先責任者 (役職名) 財務経理部長

(氏名) 西岡 博之

TEL 043-350-0567

四半期報告書提出予定日 平成21年11月10日

配当支払開始予定日 —

(百万円未満切捨て)

1. 平成22年3月期第2四半期の連結業績(平成21年4月1日～平成21年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年3月期第2四半期	9,025	△2.5	1,003	△4.8	1,019	△4.1	540	△10.4
21年3月期第2四半期	9,258	—	1,053	—	1,063	—	603	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年3月期第2四半期	110.52	—
21年3月期第2四半期	119.42	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
22年3月期第2四半期	9,062	6,412	70.5	1,305.42
21年3月期	8,676	6,040	69.3	1,229.56

(参考) 自己資本 22年3月期第2四半期 6,386百万円 21年3月期 6,015百万円

2. 配当の状況

	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年3月期	—	0.00	—	45.00	45.00
22年3月期	—	0.00	—	—	—
22年3月期(予想)	—	—	—	45.00	45.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成22年3月期の連結業績予想(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	18,268	△2.7	2,037	△8.6	2,074	△8.4	1,141	△9.4	233.23

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 有

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有

(注) 詳細は、4ページ【定性的情報・財務諸表】4. その他をご覧ください。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)

① 会計基準等の改正に伴う変更 無

② ①以外の変更 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	22年3月期第2四半期	5,385,600株	21年3月期	5,385,600株
② 期末自己株式数	22年3月期第2四半期	493,514株	21年3月期	493,424株
③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間)	22年3月期第2四半期	4,892,116株	21年3月期第2四半期	5,055,675株

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記の予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報及び将来の業績に影響を与える不確実な要因に係る本資料発表日現在における仮定を前提としております。実際の業績は、今後様々な要因によって大きく異なる結果となる可能性があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用にあたっての注意事項につきましては、本日、別途開示する「業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

【定性的情報・財務諸表等】

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、政府の財政出動や輸出の持ち直し等から、景気の下げ止まりの兆しが見られてきましたが、失業率の上昇や民間平均給与の減少が続くなど、景気の悪化が続く、先行き不透明な状況が続きました。

当社グループの主要顧客であります流通業界は、消費マインドの冷え込みから個人消費の減少傾向が続く、経営環境はさらに厳しいものとなりました。

なお、当社グループの売上高の特徴として、国内実地棚卸サービス事業の閑散期である第1四半期連結会計期間および第3四半期連結会計期間の売上高は少なく、国内の主要な顧客である流通業界の決算が集中する第2四半期連結会計期間および第4四半期連結会計期間は繁忙期となり売上高が多くなる傾向があります。

事業の種類別セグメントの業績は次のとおりであります。

①実地棚卸サービス事業

実地棚卸サービス事業の業績は、国内実地棚卸サービス事業において、前年同期の売上高に寄与した大口臨時受注がなかったことと、店舗の在庫減少等により、売上高は8,311百万円（前年同期比1.7%減）、営業利益は977百万円（前年同期比5.3%減）となりました。

②人材派遣事業

人材派遣事業の業績は、雇用環境の変化により顧客の自社対応が可能となり、売上高は714百万円（前年同期比11.2%減）、営業利益は15百万円（前年同期比4.9%減）となりました。

この結果、第2四半期連結累計期間の売上高は9,025百万円（前年同期比2.5%減）、営業利益は1,003百万円（前年同期比4.8%減）、経常利益は1,019百万円（前年同期比4.1%減）、投資有価証券評価損等により四半期純利益は540百万円（前年同期比10.4%減）となりました。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

（総資産）

当第2四半期連結会計期間末における総資産は9,062百万円（前連結会計年度末比386百万円の増加、前連結会計年度比4.5%増）となりました。これは、主として本社ビル別館の建設工事に伴い有形固定資産が増加したことによるものです。

（純資産）

当第2四半期連結会計期間末における純資産は6,412百万円（前連結会計年度末比372百万円の増加、前連結会計年度比6.2%増）となりました。これは、主として利益の獲得による利益剰余金の増加によるものです。

（キャッシュ・フローの状況）

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物は、2,979百万円（前連結会計年度末比52百万円の減少）となりました。

①営業活動によるキャッシュ・フロー

営業活動によるキャッシュ・フローは、872百万円の増加（前年同期比186百万円の増加）となりました。これは、主として売上債権の減少及び未払金の増加によるものです。

②投資活動によるキャッシュ・フロー

投資活動によるキャッシュ・フローは、711百万円の減少（前年同期比471百万円の減少）となりました。これは、主として棚卸機器等の取得及び本社ビル別館の建設費用等の有形固定資産の取得と定期預金の預入による支出であります。

③財務活動によるキャッシュ・フロー

財務活動によるキャッシュ・フローは、220百万円の減少（前年同期比629百万円の増加）となりました。これは、主として配当金の支払いによるものであります。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

平成22年3月期の通期の業績予想につきましては、平成21年5月11日公表の業績予想から修正を行っております。詳細につきましては、本日、別途開示する「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

一般債権の貸倒見積高の算定方法

当第2四半期連結会計期間末の貸倒実績率等が前連結会計年度末に算定したものと著しい変化がないと認められるため、前連結会計年度末の貸倒実績率等を使用して貸倒見積高を算定しております。

税金費用の計算

当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。なお、法人税等調整額は法人税等を含めて表示しております。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

該当事項はありません。

5. 【四半期連結財務諸表】
 (1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成21年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,182,235	3,037,587
受取手形及び売掛金	2,239,299	2,358,404
貯蔵品	88,671	78,849
その他	316,472	327,869
貸倒引当金	△2,110	△2,277
流動資産合計	5,824,569	5,800,434
固定資産		
有形固定資産		
土地	1,193,012	1,193,012
その他(純額)	739,741	471,252
有形固定資産合計	1,932,753	1,664,264
無形固定資産	481,213	428,878
投資その他の資産		
その他	838,260	798,709
貸倒引当金	△14,186	△15,903
投資その他の資産合計	824,073	782,806
固定資産合計	3,238,040	2,875,950
資産合計	9,062,609	8,676,384
負債の部		
流動負債		
短期借入金	40,000	40,000
未払金	1,272,255	1,128,732
未払法人税等	447,322	586,236
賞与引当金	345,351	278,148
役員賞与引当金	34,540	67,320
その他	374,371	400,654
流動負債合計	2,513,839	2,501,092
固定負債		
退職給付引当金	21,708	20,214
債務保証損失引当金	30,000	30,000
その他	84,295	84,335
固定負債合計	136,003	134,549
負債合計	2,649,843	2,635,642

(単位：千円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成21年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	475,000	475,000
資本剰余金	489,665	489,665
利益剰余金	6,719,629	6,399,082
自己株式	△1,228,149	△1,227,959
株主資本合計	6,456,145	6,135,788
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△37,470	△75,694
為替換算調整勘定	△32,425	△44,872
評価・換算差額等合計	△69,896	△120,566
少数株主持分	26,516	25,520
純資産合計	6,412,765	6,040,741
負債純資産合計	9,062,609	8,676,384

(2) 【四半期連結損益計算書】
【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年9月30日)
売上高	9,258,120	9,025,763
売上原価	6,880,780	6,673,013
売上総利益	2,377,339	2,352,750
販売費及び一般管理費	1,323,357	1,349,679
営業利益	1,053,981	1,003,070
営業外収益		
受取利息	3,162	1,900
受取配当金	5,807	5,455
受取賃貸料	9,155	13,048
その他	8,178	6,843
営業外収益合計	26,303	27,247
営業外費用		
支払利息	503	250
貸倒引当金繰入額	6,192	—
賃貸費用	6,868	8,480
その他	3,069	1,893
営業外費用合計	16,633	10,623
経常利益	1,063,651	1,019,694
特別利益		
貸倒引当金戻入額	—	518
特別利益合計	—	518
特別損失		
固定資産除却損	921	198
投資有価証券評価損	—	57,201
特別損失合計	921	57,400
税金等調整前四半期純利益	1,062,730	962,812
法人税等	457,974	421,121
少数株主利益	1,028	996
四半期純利益	603,726	540,694

(3)【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	1,062,730	962,812
減価償却費	131,707	139,030
賞与引当金の増減額(△は減少)	66,406	67,202
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	△32,712	△32,780
退職給付引当金の増減額(△は減少)	557	△3,395
受取利息及び受取配当金	△8,969	△7,355
支払利息	503	250
投資有価証券評価損益(△は益)	—	57,201
売上債権の増減額(△は増加)	△27,701	127,740
未払金の増減額(△は減少)	△1,993	155,193
未払消費税等の増減額(△は減少)	△34,619	△44,913
その他	△9,552	4,880
小計	1,146,357	1,425,866
利息及び配当金の受取額	8,231	6,511
利息の支払額	△389	△250
法人税等の支払額	△468,690	△559,937
営業活動によるキャッシュ・フロー	685,508	872,190
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	—	△204,822
定期預金の払戻による収入	—	8,902
有形固定資産の取得による支出	△160,387	△352,354
有形固定資産の売却による収入	1,754	34,041
無形固定資産の取得による支出	△107,602	△136,682
投資有価証券の取得による支出	—	△3,000
関係会社株式の取得による支出	—	△41,946
差入保証金の差入による支出	△11,982	△26,302
差入保証金の回収による収入	18,605	13,964
その他	19,612	△3,731
投資活動によるキャッシュ・フロー	△240,001	△711,930
財務活動によるキャッシュ・フロー		
自己株式の取得による支出	△620,266	△189
配当金の支払額	△229,643	△220,161
財務活動によるキャッシュ・フロー	△849,910	△220,351
現金及び現金同等物に係る換算差額	△4,580	7,800
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△408,983	△52,291
現金及び現金同等物の期首残高	2,777,659	3,031,839
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,368,675	2,979,548

(4) 継続企業の前提に関する注記

当第2四半期連結累計期間（自 平成21年4月1日 至 平成21年9月30日）

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

【事業の種類別セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間（自 平成20年4月1日 至 平成20年9月30日）

	実地棚卸サービス 事業(千円)	人材派遣事業 (千円)	計 (千円)	消去又は全社 (千円)	連結 (千円)
売上高					
(1)外部顧客に対する 売上高	8,453,898	804,222	9,258,120	—	9,258,120
(2)セグメント間の内 部売上高又は振替 高	—	1,910	1,910	(1,910)	—
計	8,453,898	806,132	9,260,030	(1,910)	9,258,120
営業利益	1,032,525	16,123	1,048,648	5,332	1,053,981

(注) 1 事業の区分は、内部管理上採用している区分によっている。

2 各区分の主な製品

(1) 実地棚卸サービス事業

金額棚卸サービス、単品棚卸サービス、資産棚卸プログラム、その他の流通業周辺サービス

(2) 人材派遣事業

人材派遣サービス

当第2四半期連結累計期間（自 平成21年4月1日 至 平成21年9月30日）

	実地棚卸サービス 事業(千円)	人材派遣事業 (千円)	計 (千円)	消去又は全社 (千円)	連結 (千円)
売上高					
(1)外部顧客に対する 売上高	8,311,563	714,199	9,025,763	—	9,025,763
(2)セグメント間の内 部売上高又は振替 高	—	341	341	(341)	—
計	8,311,563	714,541	9,026,105	(341)	9,025,763
営業利益	977,980	15,339	993,320	9,750	1,003,070

(注) 1 事業の区分は、内部管理上採用している区分によっている。

2 各区分の主な製品

(1) 実地棚卸サービス事業

金額棚卸サービス、単品棚卸サービス、資産棚卸プログラム、その他の流通業周辺サービス

(2) 人材派遣事業

人材派遣サービス

【所在地別セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間（自 平成20年4月1日 至 平成20年9月30日）

本邦の売上高は、全セグメントの売上高の合計に占める割合が90%超であるため、所在地別セグメント情報の記載を省略しております。

当第2四半期連結累計期間（自 平成21年4月1日 至 平成21年9月30日）

本邦の売上高は、全セグメントの売上高の合計に占める割合が90%超であるため、所在地別セグメント情報の記載を省略しております。

【海外売上高】

前第2四半期連結累計期間（自 平成20年4月1日 至 平成20年9月30日）

海外売上高は、連結売上高の10%未満であるため、海外売上高の記載を省略しております。

当第2四半期連結累計期間（自 平成21年4月1日 至 平成21年9月30日）

海外売上高は、連結売上高の10%未満であるため、海外売上高の記載を省略しております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当第2四半期連結累計期間（自 平成21年4月1日 至 平成21年9月30日）

該当事項はありません。

以上